



さくらだより

第 31 号

2014年10月15日

秋に咲く
桜の花のような
可憐なコスモスよ
今年も和みまで
ありがとう。

特集

ワークパートナーYUI

- 世の中の流れ
ドロップアウトと障がい者雇用
- FREE フリー
オレンジサロン ほっこり
たんとおあがり
- リレーコラム
- サービスの色々
訪問入浴介護

特集●新規事業のご紹介

初めまして！



2014(平成26)年5月1日、大亀谷の地に就労継続支援A型ワークパートナーYUIが誕生しました。当法人では法人全体で障がい者雇用を考える場としてプロジェクトを立ち上げ、積極的に障がい者雇用に取り組んできました。

連絡先/〒612-0844 京都市伏見区深草大亀谷東古御香町59・60
TEL.075-646-1741 FAX.075-645-6551
Eメール: yui@kyoro.or.jp



Kさんのお仕事

- 9:00 養護老人ホーム内のリビング 掃除機
 - 10:00 養護老人ホーム内の廊下 ゴミ集め リビングモップがけ
 - 10:30 頃 15分休憩
 - 11:00 養護老人ホーム内トイレ 掃き掃除 拭き掃除
 - 12:00 養護老人ホーム内洗面所 掃き掃除 拭き掃除
 - 12:30~13:30頃 昼休憩
 - 13:00 洗車
 - 15:00 頃 15分休憩
 - 15:00 作業所内の掃き掃除
 - 16:00 退勤
- 9:00~16:00 実働5.5時間で、仕事は1ヶ月間同じ内容。

- その他の仕事
- ・清掃(大食堂、訓練室、喫煙所など)
 - ・施設外周(花壇の手入れなど)
 - ・書類シュレッダー
 - ・喫茶、洋菓子販売(8月現在営業許可申請中)など

ワークパートナーYUIが目指す就労継続支援A型とは

就労継続支援A型とは、一般事業所で就労することが困難な障がい者に対し、雇用契約に基づく就労機会の提供、知識及び能力の向上のために、必要な訓練などを行うサービスです。このサービスを通じて、一般就労に必要な知識や能力を高め、最終的には一般事業への移行を目指します。ワークパートナーYUIでは、テクニカルだけでなく、チームで仕事ができるよう

コミュニケーション力や組織性を養うよう支援していきます。研修にも力を入れ、資格取得のためのバックアップも行います。

「YUI」の自立を目指して

障がい者の就職支援をする根底には、地域に暮らすすべての人が誇りを持って、安心して暮らせる「共生社会」の実現があると考えます。ワークパートナーYUIは、「障がい」というそれぞれの個性を尊重し、その個性を生かすオーダーメイドの支援をしています。



YUI職員の方の熱い思い

●高齢者福祉とは別に障がい者福祉の知識の幅を広げていきたいという思いがありYUIさん設立の話があがったので、来させて頂くことになりました。
●実際来てからは、一般就労に繋げるためにどういうアプローチができるかという勉強をしながらYUIさんとの形をつかんでいるところです。

●実際に働いてみて、お年寄りからは人生の先輩として物事を教えていただき、障がいを持っている人は素直に思ったことを口に出されるので、新鮮です。それが日々楽しいです。
●こっちができないだろうと思いきや、これでも突然できて、成長が目に見えます。それと一緒に喜んで楽しんでくれるのです。
●日々発見。高齢者と関わっている時も発見がいっぱいありますが、ここでは、彼らと接することで自分が成長している事がすごく分かり、自分が成長していくことで、彼らも共に成長していける。だから頑張っています。



管理者の熊谷さんに聞きました

障がいのある人は「これができる」というそれぞれの個性があります。そこに視点を向けて、我々はアプローチしています。それぞれの個性の良さをYUIの仕事を通して見つけ、どんどん引き伸ばして行ってほしい。そしてここから次のステップに繋げていければ嬉しいです。YUIはまだ始まったばかりで、仕事の内容

が少ないので、これからもっと広げていきたい。施設内でお仕事を頂いているが、もっと法人全体で仕事をしていきたいと思っています。まだまだ試行錯誤しています。
●我々職員も、メンバーもまだ始めたばかりのよちよち歩きの状態なので、皆様には温かい目で見てください。だからといって、お金をしっかり頂いて仕事をさせてもらっているの、甘えてはいけないと思っています。



開所式の記念植樹



世の中の流れ ドロップアウトと 障がい者雇用

近年、若者の早期離職率が高くなり問題になっています。2013年度の流行語大賞トップテンに「ブラック企業」という言葉がノミネートされ、これから働くこととしている、またはすでに就職し働いている若者にとって暗いニュースが多く聞かれるようになりました。

ドロップアウト

ドロップアウトとは、会社を辞める、学校を中途退学する、レールから外れる、脱落するといった意味の言葉です。若者の早期離職率が高いと書きましたが、今現在、どれだけの若者がドロップアウトを選択しているのかを職業別に見てみましょう。

宿泊業・飲食サービス業	51・0%
教育・学習支援事業	48・9%
医療・福祉	37・7%

就職者が3年以内に 仕事を辞める率について

(2013年度・厚生労働省調べ)

サービス系の職種での離職率は高く、福祉系の職種でも三割を超え四割近くになっています。離職理由としてよく聞かれるのが「会社・仕事が自分に向いていない」「人間関係がうまくいかない」ですが、特に介護職では、3K(きつい、汚い、危険)に耐えられない、ということがあがるそうです。

その後の再就職については、安定所30・8%、民間紹介19・8%、自己就職47・3%、自営1・5%であり、民間紹介で就職した者の割合が大きく、年齢が高くなるほど1年以内の就職が確認できた割合が低くなる傾向がみられました。

では、障がい者有する方々の就業状況はどうなっているのでしょうか。

障がい者の就業状況

民間企業での実雇用率は1・69%で、法定雇用率には届かないものの、雇用者数は9年連続で過去最高となりました。しかし、健常者雇用と比べ、業務適性が判別しづらく、単に受け入れ数を多くすることはミスマッチとなり、退社となるケースが多くなります。採用数と同時に定着率を高めるた



障がい者の就業継続支援

就業継続支援とは、働く意欲のある障がいをもつ方に対して働く場所の提供、さまざまな活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うものです。対象となる障がい者総数は約744万人。このうちの雇用施策対象者(18・64歳の在宅者の方)は、約322万人(身体障

がい者、知的障がい者、精神障がい者)となっています。就業継続支援にはA型とB型があります。その違いは次のようになっています。

A型事業の対象：「通常の事業所で雇用されることは困難だが、雇用契約に基づく就業が可能の方」
B型事業の対象：「通常の事業所で雇用されることは困難で、雇用契約に基づく就業も困難な方」

京都老人福祉協会では、平成10年より積極的に障がい者雇用に取り組み、法人全体でプロジェクトが進められました。今年5月に、就業継続支援A型「ワークパートナーYUI」が誕生し、ノーマライゼーション、共生社会の実現に向けて更なる前進を果たしました。その反面、健常者の就業支援については当法人ではまだ着手していません。当法人が今後どのように関わっていくのか、考えていかなくはならない課題として残っています。

「ワークパートナーYUI」に関しては、今号の特集のページに詳しく掲載させて頂いております。そちらをぜひご覧下さい。



オレンジサロン ほっこり

醍醐の家ほっこりでは5月からオレンジサロンを始めました。オレンジサロンとは初期認知症、若年性認知症の方、物忘れが最近気になってきた方の早期の出会いの場として、介護者であるご家族の悩みなどを相談し合って、情報共有の場として月に1回開催しております。

ほっこりのスタッフだけでなく地域包括支援センターや認知症の人と家族の会の方、医師、様々なボランティアの方と連携していきながら、毎月様々な催しを行っています。

認知症は特別な病ではなく、認知症になったとしても安心して暮らせるような地域を作り上げていく意味でもオレンジサロンは大きな役割があります。介護を受けるこ



と、サービスを使うことに最初は抵抗のある方もたくさんおられます。そういった方がオレンジサロンを通じて、認知症が特別な病でないことを知り、不安を少しでも和らげ、次の支援に繋がるケースがあります。家族としても介護やサービスについて知識を得たり、少し介護の時間を忘れる息抜きの間になったり、困った時にいつでも相談できる相手がいるという安心感を得ることに繋がります。我々スタッフも当事者、ご家族の方と関わることにやり、支援していくために具体的に何が必要か考える機会になり、その方達を地域で支えていくということをより意識していくようになりました。

認知症は他の病気と同様に早期発見することが大切であると言われております。早期発見することで後の生活が穏やかに、その人らしい生活が送れるようになります。しかし当事者やご家族の立場からすれば、気付いていたとしても、友人や近所の方にも言えない。相談したくても出来ないといったことが多くあります。そういった方が気軽に立ち寄って、お話ができる、悩みを共有できる、そんな場所にしていきたくて考えています。



日時/毎月第二日曜日
時間/14:00~16:00
喫茶代/200円
問い合わせ先/醍醐の家ほっこり
Tel. 575-3888

現在介護保険サービスを利用されていない方を優先させていただきますが、既にデイサービスなど介護保険のサービスを利用されている方も多数利用されています。



リレー relay column コラム

子どもたちの笑顔につつまれて…

ウツリ保育園 園長 濱上 真由美

昨年創立60周年という節目を迎え、新たに61年目にあたる今年に園と共に私も園長として、はじめの一步を踏み出すこととなりました。長年、保育士として子どもたちに携わり、子どもと共に笑い、共にあそび、共に学んできましたが、今までと少し違う立場となり、子どもを支え、保護者を支え、保育士を支えるということに慌たしい日々の中、戸惑いながらも半年が経とうとしています。これからの行事も一つひとつを大切に、子どもと保護者と職員と共に楽しみながら取り組んで行けるようにしたいと思っています。

さて、来年度(平成27年)4月より「子ども・子育て支援新制度」が、スタートします。この新制度では、次のようなことが掲げられています。

(1)幼稚園と保育所のいいところをひとつにした「認定こども園」の普及を図ります。

(2)保育の場を増やし待機児童を減らして、育てやすい、働きやすい社会にします。

(3)幼児期の学校教育や保育、地域の様々な子育て支援の拡充や質の向上を進めます。

(4)子どもが減ってきている地域の子どもがしっかり支援します。

ここに、あげられているような新制度は、誰もが望んでいることだと思えますが、制度制作に携わっている方々は、これからの乳幼児教育について真剣に考えて頂いているかとは思いますが、日々乳幼児教育に携わっているわけではないので本当に子ども・保護者・教師・保育士に良い制度となるかについては、疑問な点・不安な点があると思っています。

これまで長く保育に携わってきたことを生かし、不易流行として、今まで大切に続けてきた子ども・保護者・保育士に良い教育・保育を守っていくことと同時に、今の地域のニーズや新制度にも対応していきたいと思っています。

これからも子どもたちの笑顔につつまれながら、子どもたちの笑顔を守っていければと思っています。



ウツリ保育園 園長 濱上 真由美

敬老の日」の始まりをどう存じますか？

現在の兵庫県多可町の当時は野間谷村の門脇村長が昭和22年に「お年寄りを大切にして、お年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」ということで、農閑期にあたり、気持ちの良い9月中旬の15日を「としよりの日」と定め敬老会を開いたのが始まりなのだそう。

これが兵庫県全体に広まり、そして全国に広まっていきました。昭和39年に「敬老の日」と改められ、昭和41年に国民の祝日になりました。現在は9月の第三月曜日。

敬老の日に日頃の感謝を込めて贈るプレゼントは、何をあげたらいいか悩まれる方が多いのではないのでしょうか？

では実際に敬老の日にプレゼント

敬老の日

「もらってうれしかった」

1位 おいしいもの
2位 お花
3位 洋服

「もらいたい」

1位 一緒に過ごす時間
2位 商品・食事券など
3位 お花

編集後記

私は広報委員を担当して2年目になります。広報委員になっての一番の喜びは、自分が思い描く通りに記事が仕上がったのを手に取って見た時です。どうい文章にしたら読んで頂きやすいか、どんな色合いや写真の配置等のレイアウトをしたら見栄えが良いのかを細かいことでも納得がいくまで広報委員の皆で考えます。完成した記事を見ると素直に嬉しく思い、是非みなさんに見て頂きたい、頑張ったよかったですと実感する時、広報委員をして本当によかったなと思います。

広報委員 細野 修平

(表紙はうづら保育園学童保育の児童たちの折り紙と、書道サークルの利用者さんに言葉を書いて頂き製作しています)

～京都府産農産物利用推進施設～

「たんとおあがり京都府産」施設!

京都老人ホームの地産地消の取り組み

安全な食材を使い手作りで食事を作っています。利用される方に“安心”“安全”の食事を提供することを基本としています。今まで慣れ親しんだ“味”を提供するために、出来る限り京都府産の作物を使用する事を心掛けています。また、京の伝統野菜を知り、食文化を学び、食事の質向上に努めます。



食の安全 お届けします

独自の調理を

- 京老内の畑で自ら野菜を作り、野菜を作る方の気持ちを実感できるようにしている。→栽培した野菜は、ぬか漬けなどにして利用者さんに提供している。
- 出来る限り、加工品は使わずに、調理員の手により、調理を行っている。(本館、西館では、こしあん、つぶあんは使わず、小豆から餡子を手作りしている。)(海老フライやコロックもミンチからパン粉付けを一つずつ行っている。)(ラーメンの提供は、豚骨からだしを取り、味付けを行っており、きつちんさくら独自のスープになっている。)



育んでいます

- きつちんさくら内で、調理技術研修を行っており、技術、調理の質の向上を目指している。
- 利用者さんとエンドウ豆の豆むきを一緒に行い、交流を持つと共に、利用者さんからも昔の野菜に関する知識を教えて頂いている。管理栄養士は、常に旬の食材を意識して、献立を立てている。



お届けします

- 京都老人ホームきつちんさくらでは、養護 80食、特養 150食、ショート 10食、配食は昼 170~180食/夕 180~190食/土日 140食を提供しています。
- 内部の会議で、食の安全についての話し合いを意識的にし、京都府産のブランド野菜を季節毎にお届けしています。



「たんとおあがり 京都府産」施設とは

京都府では「いただきます。地元産」プランに基づき、安心・安全な京都府産農産物の利用促進を通じて、健康的で心豊かな食生活の実現と府内の農地や農業を守り育てていく環境づくりを目指しています。

この取組みの一環として、府内産農産物の利用や食文化等の情報発信に積極的に取り組む病院・福祉施設や社員食堂を有する企業等を「たんとおあがり 京都府産」施設として認定しています。

- 認定要件**
- ①京都府産野菜等を四季毎に30日以上利用 (品目毎の利用日数の合計が30日以上)
 - ②京都府産米を概ね50%以上利用 (年間利用日数の合計)
 - ③施設利用者に、京都府産の米・野菜等を使用した献立等を通じて、産地や食文化等の情報を発信 (四季毎に1回以上)

訪問入浴介護

(訪問入浴サービス)

●訪問入浴介護とは？

介護保険の居宅サービスにあたり、介護給付と予防給付で受けることができるサービスです。介護給付では訪問入浴介護、予防給付では介護予防訪問入浴介護といいます。利用者様のご自宅に専用の訪問入浴車にて訪問し、入浴のお手伝いをさせて頂くことで安全に気持ち良くお風呂に入って頂くことができます。



訪問入浴スタッフ

さまざまな理由で、ご自宅での入浴が難しいという方に、我々京都老人ホーム訪問入浴介護は、安全で気持ちの良い入浴を全力でサポート致します。
もっと大勢のお困りの方々にご利用頂きたいと思っています。



訪問入浴車

●質問コーナー●

Q 訪問介護の入浴サービスとの違いは？
A 訪問介護では自宅浴槽を使用するのに対し、訪問入浴介護の場合は、こちらから浴槽をご自宅内に持ち込み行います。

Q 訪問入浴車にはなにが積まれているの？
A 浴槽、給湯機（灯油使用）、給排水ポンプ等。

Q バスタブへのお湯の入れ、排水の仕方は？
A 入浴車から直接か、自宅浴槽にお湯を溜め、ポンプを使って入水します。排水の場合も同様にポンプを使ってお風呂場の排水溝や屋外の排水溝に排水します。感染症対策は？
A 一件毎の物品洗浄と消毒。職員の手指消毒を徹底しています。



自宅内でバスタブを組み立てているところ



バスタブを降ろすところ

訪問入浴の流れ（全体で約50～60分程度）

	看護師	介護職
訪問	挨拶 用具の搬入 バイタルチェック 体調確認、医療機関の受診の有無 医師の指示、服薬・投薬の確認	湯船等セッティング 湯温の調整 水漏れに注意 常に身体状況の変化や不測の事態に注意し、声かけを行う 室温（24℃程度）の調整
脱衣	タオル類で覆う（基本的に2名で行う） プライバシーの保護 場合により摘便、陰洗を行う （体調不良等の場合は清拭、着衣交換等）	
移動1	車イス、ベッド等から浴槽へ バスタオル移行、手引き介助等2～3名で行う	
入浴	ネット上にて行う→洗髪、洗身、洗顔、髭剃りを各職員が分担 陰部は同性職員が洗う 湯温は38～40℃が目安 入浴時間（3～5分）に留意 必要に応じて爪切り・髭剃り 上がり湯 背面も体交、座位にて行う	シート交換
移動2	移動1の逆手順で行う	
着衣	バイタルチェック 医療的処置 消毒、ガーゼ交換、葉の塗布、吸引、眼清拭等 状況、状態に応じて… 家族へ往診の声かけや関係機関への連絡 手早く行う→基本的に2名で行う 水分補給を促す	用具清掃・片付け 用具の搬出
終了	移動した物を元どおりにし、訪問宅に汚染・破損がないか確認 挨拶	

京都老人ホーム
訪問入浴担当 **石井 孝志**さん

・訪問入浴は、利用者様のご自宅に特殊浴槽を搬入しスタッフ3名（看護師1名、介護士2名）1組を基本として入浴提供するサービスです。ADL（日常生活動作）の低下や医療的ニード（褥瘡、気管切開、各種カテーテル類の装着等）により、ご自宅のお風呂での入浴が困難な方でも、住み慣れた環境で安全に、安心して入浴して頂けます。入浴による気分爽快感を得られる事でQOL（生活の質）の向上にもつながるものと確信しています。